

# 教育行政執行方針

※内容は一部を要約しています。  
全文は市ホームページに掲載しています。

## 「地域の協働による家庭教育の推進」

新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活不安やストレス増加などから、全国的に児童虐待事例の増加や深刻化が懸念されています。令和2年4月から、子どもの躰に際して体罰を加えてはならないことが法律化され、国は体罰等によらない子育てを推進するために、社会全体で取り組んでいく方針を示しています。教育・福祉・保健・医療など、関係機関や地域の方々の連携を強化し、児童虐待の未然防止はもちろん、虐待の早期発見と早期対応に取り組みます。

## 「次代を担う人材の育成と地域とともにある学校づくりの推進」

令和3年度は、GIGAスクール構想に基づいて整備した環境を最大限に活かし、指導体制を確立します。中学校の部活動については、拠点校方式を試行的に取り入れ、拠点校となる中学校の部活動に参加できる仕組みづくりを進めます。キャリア教育については、経済界も参画する全市的なキャリア教育推進協議会を立ち上げ、地域の発展に寄与する人材の育成につながるカリキュラムの開発に着手します。



中学生向け企業フェア

本市においても保育ニーズが高まっており、特に0歳から2歳までの低年齢児においては待機児童が発生している状況です。現在、港地区に建設が進められている幼保連携型の施設である認定こども園の開設、公立保育所の再編を進め、令和4年度には保育所の待機児童ゼロの実現を図ります。

## 「市民の学びを支える地域づくり」

子育て提言の見直しについては、令和元年度から2か年にわたり議論を重ねてきたことで、一定程度、見直しの結論を得たものと考えています。持続的な子育て運動の推進のためにも、事業の内容や質を見直しながら、令和時代に相応しい新たな子育て運動の構築を目指します。

「風ぐるわっかない」は、生涯学習の拠点施設として、幅広い年齢層に豊富な学習メニューを提供し、様々な学びの充実を図ります。市立図書館では、子ども達に読書の面白さを紹介するブックトークなどの新たな出前授業のほか、学校図書館や保育所、幼稚園に対し、絵本や図書の定期的な団体貸出を実施します。

## 「まちの魅力を活かした文化・スポーツ活動の推進」

新型コロナウイルス感染症の影響によって、市民の文化・芸術活動や交流の停滞が見受けられます。地域の伝統や文化が失われることがないよう、交流事業などへの支援を継続します。

稚内総合文化センターは、開館から37年が経過し、設備の大規模更新の時期を迎えています。更新にあたり、一定程度の休館をお願いすることになるため、利用者のご理解をいただきながら、段階的に整備を行います。令和3年度は、感染防止対策を万全に施すことを前提としたスポーツ交流の再開が期待されます。全国的な状況とコロナ禍を見据えた「新しい生活様式」に配慮しながら、安心してスポーツ活動をする機会に恵まれるよう取り組みます。



総合文化センター

令和2年10月にグランドオープンしたみどりスポーツパークは、子どもからお年寄りまで、多くの方々に利用していただき、目的に応じた多様なスポーツやレクリエーションの機会を創出します。また、地域コミュニティの活性化につながる「総合型地域スポーツクラブ」設立に向けて、本市として育成・支援を行いながら、スポーツで広がるまちづくりを推進します。

# 一般行政報告

※内容は一部を要約しています。  
全文は市ホームページに掲載しています。

## 「冬季イベントの中止と成人式典の開催について」

例年、宗谷岬で行われる「初日の出inpoppo」をはじめ、「わっかない氷雪の広場」や「全国犬ぞり稚内大会」など、この時期は、全国的にも知られている冬季イベントが開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、中止せざるを得ませんでした。特に、「全国犬ぞり稚内大会」は、2年続けての中止となり、観光をはじめ、様々な経済分野に大きな影響を与えましたが、改めて、一日も早いコロナの終息を願う次第です。



感染対策を徹底して開催した成人式

一方、成人式典は、全国各地で中止や延期となる中、本市においては、1月10日、予定通り開催しました。当日は、ご家族の入場制限、式典の時間を短縮するなど、感染症対策を徹底しながら実施しました。結果として、成人式典に関連しての感染者が発生しなかったことについて、改めて関係者の皆様のご協力で感謝いたします。

## 「新型コロナウイルスのワクチン接種の対応について」

新型コロナウイルスに対しては、現状ではワクチン以外に、発症や重症化を抑える有効な予防手段が無いため、ワクチン接種が急がれています。今回の接種は、各市町村が実施主体となることから、1月14日に生活福祉部を中心に、他の部からの応援職員も含めた実施体制を整備し、準備を進めています。

接種方法については、大規模な施設を会場にして行



ワクチン保管用冷凍庫

う集団接種と、市内の病院や医院などで行う個別接種を併用して実施することを想定しており、ワクチンを保存するデュープフリーザーについては、合わせて2台が国から配置される予定です。供給量に見合った接種を行うため、電話やインターネット等を活用した予約の受付体制の検討や、接種の確認に必要なクーポン券、予診票などを印刷し、順次、発送できるよう準備を進めているところです。今のところ、ワクチンの供給時期は不透明ですが、国から示されているスケジュールでは、令和4年2月28日までに接種を終えることが想定されています。宗谷総合振興局や稚内保健所、医師会など、関係機関、団体と、一層連携を密にして、一人でも多く、一日も早く、安全に接種が進むよう努めていきます。